

## コノコ、米シェールを1兆円買収

### 油井の質、再編の引き金

【ニューヨーク＝中山修志】米シェール企業のM&A（合併・買収）が相次いでいる。米石油メジャーのコノコフィリップスはシェール大手コンチョ・リンシーシスの買収を発表した。新型コロナウイルスでシェール企業の株価が低迷し、南部の優良資産を取得する好機と判断した。長引く原油安で、生産コストが低い良質な油井を巡る再編が加速している。

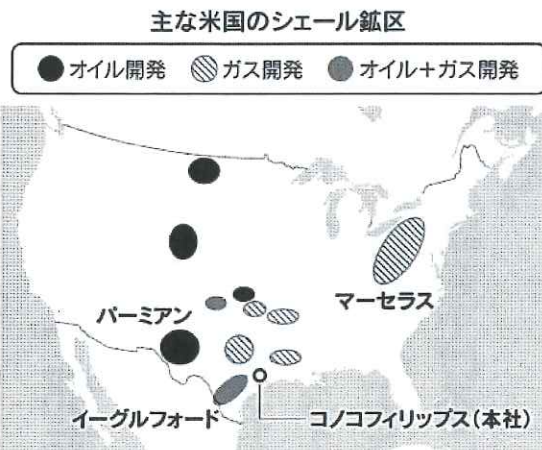
コノコは97億ドル（約1兆2000億円）の株式交換によりコンチョの全株式を取得し経営統合する。コンチョは米南部のパームラン鉱区に大規模なシェール資産を持つ。コノコはシェールオイルで同業大手のエクソンモービルやシェブロンに並ぶ規模になる。

コノコのライアン・ランス最高経営責任者（CEO）は19日の電話会見

### 続く原油安、コストで選別

で「収益低下とESG（環境・社会・企業統治）の流れに対応する最良の解決策だ」と述べた。統合により年間5億ドルのコスト削減を見込む。

コノコはカナダやオーストラリアに大規模な石油・天然ガス資産を持つが、生産規模でエクソンやシェブロンの半分以下にとどまる。米南部のシ



エル開発でも出遅れ、パーミアンの生産量は日量7万トン程度と大手2社に水をあけられていた。コンチョ買収により石油換算の埋蔵量で80億バレルのシェール資産を取得し、1バレル以下のコストで生産できる埋蔵量を230億バレルに積み増す。ランスCEOは「エネルギー業界はこれまで以上に規模が重要になる」と述べ、追加のM&Aなどを検討する意向を示した。

米石油メジャーは油価が改善した2018年から生産拡大に転じ、数百億ドルを投じて米国やアジア、アフリカなど各地で資源開発を進めた。だが、コロナ危機で世界のエネルギー需要が縮小し、石油業界の環境が一変した。シェール業界で優位とされるコンチョも時価総額が2年前の3分の1に落ち込んでいた。

M&Aの舞台となっているのがテキサス州とニューメキシコ州にまたがるシェール最大鉱区のパーミアンだ。南部のイーグルフォードや北東部のマーセラスなどに並ぶ米国の一大生産拠点とされる。

シェブロンは約50億ドルの株式交換で7月にパーミアンを拠点とするノール・エナジーの買収を発表。9月に合併を発表したデボン・エナジーとWPPXエナジーも共に同

日本最大の  
低温物流ネットワーク

選ばれつづける仕事。

**Nニチレイロジグループ**

www.nichirei-logi.co.jp

鉱区の有力業者だ。パーミアンは石油や天然ガスを含むシェール層が地中の比較的浅い場所にあり、他の鉱区に比べ生産コストが低いとされる。南部や中西部の他のシェール鉱区の生産量がコロナ危機前に比べて2〜3割下落しているのに対し、パーミアンは9%減にとどまる。米原油先物指標のWTI（ウェスト・テキサス・インターミディエート）が1バレル40ドル程度と前年を約3割下回るなか、生産コストによる選別が進む。

# ウメト インフォメーション

引用 : 日経 / 化学工業 / 燃料油脂 / 新聞展望 / 他( )

2020 年 10 月 20 日 担当者: 椎野

## 抗ウイルスニス拡販

### サカタインクス幅広い塗布法に対応

サカタインクスは機能性抗ウイルスニス「Ra bコートVVV」シリーズを拡販する。フレキソ、グラビア、耐水、耐油性など各印刷方法で塗布でき、幅広い用途で使用できる。抗ウイルスの性能とともに、抗菌製品技術協議会が制定するSIAAを取得し安全性も備える。

同シリーズは全7種。フレキソ、グラビアなど各種塗布方法に対応し、UV(紫外線)硬化対応もある。いずれも紙が対象。食品に直接接触でき

るボジティブリスト制度には対応していないが、食品衛生法に基づく厚生省告示第370号「食品添加物等の規格基準」に適合予定。段ボール、紙器、カタログなどを主な用途として想定する。

同社が開発した抗ウイルスの基盤技術を生かした。同製品を5年前から販売しているが、今年に入るとほとんど実績がなかった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で感染リスク低減の気運が高まるなか、抗ウイルス性製品への要望が高まっ

ていたという。ただ、規格を満たすためのハードルは抗菌以上に高かったという。ウイルスの知見がほぼなく、菌とウイルスでは増殖のプロセスがまったく異なり、ウイルスの方が効果が発現しやすい。どう抗ウイルス性を安全な材料で再現し、発現プロセスをどう出すかが課題だった。

W1181を使った実験データによると、インフルエンザウイルス、ネコカリシウイルスとも、塗布した場合に24時間後のウイルスが大きく減少した。SIAAを取得していることも特徴だ。飲み込んだ時の有害性、遺伝子への影響、長く触れたときの影響、アレルギーなどのテストでも、基準を満たし、表示を認められた。

さらに、製品を作る際に考えたことが使い勝手の良さ。通常のニスと同じように、各印刷方式で塗布することができ、抗ウイルス性能を発揮できるようなものを目指し開発した。サカタインクスは印刷方式で担当部門が異なるが、連携を取りながら「オールサカタ」で取り組んだ。

今後はさらにフィルム用の開発を進め、さまざまな用途への展開を図り開発を継続する。

## 9月印刷・情報用紙国内出荷、18.5%減で14ヵ月連続の減少

引用記事

印刷業界

ニュース

毎日新聞

化学工業日報

燃料油

①

日本製紙連合会が発表した2020年9月の紙・板紙需給速報によると、紙・板紙の国内出荷は前年同月比11.1%減で14ヵ月連続の減少。用途別では、グラフィック用紙が16.6%減で46ヵ月連続の減少、パッケージング用紙は6.5%減で12ヵ月連続の減少となった。

印刷・情報用紙の国内出荷は前年同月比18.5%減で14ヵ月連続の減少。輸出も28.2%減で6ヵ月連続の減少となった。

その他の品種でも、新聞用紙が10.6%減で35ヵ月連続の減少となったほか、包装用紙が21.5%減で18ヵ月連続の減少、段ボール原紙が2.5%減で12ヵ月連続の減少、白板紙が12.2%減で14ヵ月連続の減少、衛生用紙が14.5%減で5ヵ月連続の減少となり、前月同様、主要品種すべてが減少となった。

2020年

10月

21日

担当

椎野



# フジキョウ工業(株)



2020年 10月 21日 担当 椎野

(単位:千トン、%)

<単月>

9月		生産		出荷計					在庫	(参考)輸入*		
		前年比	前年比	国内出荷		輸出		前年比		前年比		
				前年比	前年比	前年比	前年比					
	紙・板紙計	1,935	▲9.3	1,932	▲8.4	1,771	▲11.1	160	+37.0	2,071	68	▲48.3
	紙計	930	▲18.8	937	▲17.1	880	▲16.8	57	▲22.0	1,291	50	▲53.1
	新聞用紙	168	▲13.5	171	▲10.6	171	▲10.6			206	0	+87.6
	印刷・情報用紙	504	▲22.1	509	▲19.3	475	▲18.5	34	▲28.2	778	47	▲53.3
	非塗工紙	128	▲21.2	133	▲15.6	126	▲14.6	8	▲30.1	235	3	▲33.2
	塗工紙	281	▲22.6	282	▲20.4	257	▲19.8	25	▲26.4	399	11	▲79.7
	情報用紙	96	▲21.9	94	▲20.7	92	▲20.2	1	▲44.6	144	33	▲17.8
	包装用紙	56	▲23.8	61	▲15.7	45	▲21.5	16	+6.4	110	0	+6.9
	衛生用紙	155	▲1.6	143	▲14.5	143	▲14.5	0	+149.0	91	1	▲67.2
	板紙計	1,004	+1.7	995	+1.7	891	▲4.6	103	+136.1	780	19	▲29.4
	段ボール原紙	845	+5.6	833	+5.2	732	▲2.5	101	+146.5	537	3	+5.4
	白板紙	105	▲13.4	106	▲12.3	104	▲12.2	2	▲15.8	157	15	▲35.9
	グラフィック用紙	673	▲20.1	680	▲17.2	646	▲16.6	34	▲28.2	984	47	▲53.1
	パッケージング用紙	1,107	▲2.3	1,108	▲1.0	982	▲6.5	126	+81.8	995	20	▲28.6

<累計>

(参考)		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
	紙・板紙計	16,928	▲11.5	16,958	▲9.6	15,768	▲11.2	1,191	+18.8	2,071	696	▲27.7
	紙計	8,346	▲18.7	8,445	▲16.0	7,895	▲15.9	550	▲17.0	1,291	495	▲33.7
	新聞用紙	1,546	▲16.3	1,562	▲13.5	1,562	▲13.5			206	2	+153.2
	印刷・情報用紙	4,347	▲24.2	4,430	▲20.8	4,089	▲21.0	340	▲18.5	778	460	▲35.3
	非塗工紙	1,166	▲19.6	1,192	▲16.9	1,128	▲16.2	64	▲27.1	235	25	▲29.8
	塗工紙	2,348	▲26.9	2,361	▲24.2	2,104	▲25.1	257	▲16.1	399	140	▲61.5
	情報用紙	833	▲22.3	876	▲16.1	857	▲16.0	19	▲17.8	144	295	▲5.8
	包装用紙	564	▲17.1	585	▲11.6	452	▲14.1	133	▲2.1	110	5	+2.7
	衛生用紙	1,379	+1.0	1,352	▲1.5	1,351	▲1.5	1	+81.3	91	18	▲5.3
	板紙計	8,582	▲3.2	8,513	▲2.3	7,872	▲5.9	641	+88.7	780	201	▲7.2
	段ボール原紙	7,134	▲0.9	7,057	▲0.1	6,439	▲4.5	618	+93.7	537	32	+0.1
	白板紙	932	▲14.3	941	▲11.5	918	▲12.0	22	+14.1	157	162	▲8.3
	グラフィック用紙	5,893	▲22.3	5,991	▲19.0	5,651	▲19.1	340	▲18.5	984	462	▲35.2
	パッケージング用紙	9,656	▲5.2	9,615	▲3.7	8,765	▲6.8	849	+45.5	995	216	▲6.7

(注) 1. 国内工場の生産高・出荷高・在庫高による。

2. 紙計は「その他の紙」、板紙計は「白板紙以外の紙器用板紙」、「その他の板紙」を含む。

3. 輸入\*は8月、1-8月

引用記事

印刷業界

ニュース

毎日新聞

化学工業日報

燃料油

2

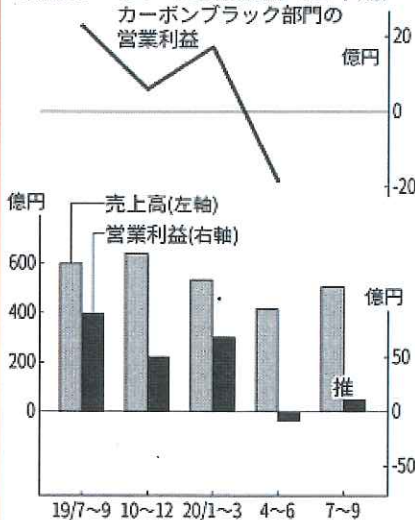
## 東海カーボン 営業黒字

### 7～9月10億円 タイヤ向け回復

東海カーボンの2020年7～9月期の連結営業損益は、10億円強の黒字（前年同期は89億円の黒字）になったようだ。タイヤ向け部材の販売が回復し、2四半期ぶりに黒字転換した。新型コロナウイルスの影響で車での移動が増え、米国でタイヤの買い替え需要が伸びたことが寄与した。製鉄所で使う黒鉛電極の受注も底入れしつつある。

4～6月期の営業損益は9億3300万円の赤字（前年同期は192億円の黒字）だった。四半期ベースで営業黒字になるのは1～3月期以来。7～9月期の売上高は前年

東海カーボンの連結業績（四半期）



カーボンブラックはタイヤの買い替え増が追い風（愛知県武豊町の工場）

くにまで戻った。

もう一つの収益の柱である電炉向けの黒鉛電極の需要も底打ちしつつある。4～6月期まではコロナ禍で鉄鋼生産が落ち込んだことに伴い、黒鉛電極の受注も急減して採算が悪化していた。

足元では顧客の鉄鋼メーカーの在庫が少なくなり、新規の受注も入り出している。今月5日には

21年1～6月に納入する期にも鋼材需要の回復に伴って電極の受注も本格的に上向くとみている。値上げは19年1～6月以来で、価格引き上げで採算を改善する。

生産調整は今後も継続する。防府工場（山口県防府市）や滋賀工場（滋賀県近江八幡市）での従業員の一部帰休を続け、ドイツや米国など海外の生産拠点も減産を続ける。稼働率を3割程度に落とした状態を年内は継続するが、21年1～6月

期にも鋼材需要の回復に伴って電極の受注も本格的に上向くとみている。半導体の製造などに用いるファインカーボンの販売は引き続き堅調だ。あらゆるモノがインターネットにつながる「IoT」の進展や高速通信規格「5G」の普及で半導体の需要が伸び、引き合も強まっている。

昨年に1000億円をかけたドイツの会社を買収して参入したアルミ精錬用の部材は、通期の部

## 東京ドームに株主提案

### 香港・オアシス 社長らの解任要求

東京ドームは19日、同社の上位株主で香港のヘッジファンド、オアシス・マネジメントから臨時株主総会の招集請求書を受け取ったと発表した。オアシスが東京ドームに提案していた業務改善策への具体的な回答がな

く、現経営陣や取締役会が非効率的な経営を続けられているなどと指摘。長岡社長のと社外取締役の森信博氏、秋山智史氏の3人を解任するよう求めた。オアシスは1月末時点の大量保有報告書ベースで東京ドームの株式を9.61%保有している。これまで東京ドームに対して運営の改善など5項目を提案したが、経営陣らとの対話が繰り返して拒絶